

## 2022 年度:こども園自己評価の報告書 服部こども園

評価項目	取り組み状況
<p style="text-align: center;"><b>教育・保育方針</b> <b>教育及び保育の目標</b> <b>全体計画・指導計画</b> <b>こども園として特に配慮すべき事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育・保育課程</li> <li>・教育環境の整備</li> <li>・研究の取り組み 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊中市の基本理念である「人とつながり生きる力の基礎を培う」の一つとして、園内研究テーマを「違いを認め合い、生き生きと主体的に活動する力を育む」とし、一人一人の個性を尊重した教育保育の取り組みを進めていった。</li> <li>・子ども主体の生活、遊びとはどういうことかを考える上で、子ども理解と子どもの遊びや理解の視点を学んでいく。また、気になる子ども達の発達理解や支援方法を学ぶことで、違いを認め合い、仲間と一緒に生き生きと主体的に活動する力を育めるよう子ども達の育ちに返していく。</li> </ul>
<b>健康支援</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師が保健年間計画を立て、クラスにおいてその都度保健指導を行ってきた。学校薬剤師と一緒に手洗い指導を積み重ねることで手洗いの意識がついている。</li> <li>・毎月の保健日よりで保健行事や感染症について情報発信を行った。また、感染症拡大防止の為の処置や玄関掲示を行い、保護者、職員にも周知した。</li> </ul>
<b>安全管理</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当番制で毎月、安全点検を行い、その都度修理改善を行った。</li> <li>・防災（火災・地震・洪水）・防犯（不審者侵入）の避難訓練を実施。避難訓練はそれぞれの担当が気づいたことを会議等で伝え、全職員が把握できるようにした。また、炊き出しを行いライフラインが止まってしまったときには、火を起こしてかまどで作ることを子どもたちに伝える。</li> <li>・水消火器を貸し出してもらい、職員が実際に使用する訓練を行う。</li> <li>・危険な場所・遊び方等、年度初めに全職員で確認をし、声掛け等の対応を同じにしていった。</li> <li>・事故があった時に、次に起こさないためにどうしたらいいのかを職員、子どもと一緒に考え、全職員に周知した。</li> </ul>
<b>食育の推進</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技能員とクラスが連携をし、給食の食材で年齢に応じて食に関わる体験が行えるようにしていった。</li> <li>・園庭が狭く限られたスペースの中で、プランター等で工夫しながら菜園活動を行っている。自分たちが育てた野菜ということで食に興味を持てる食育活動につながっている。</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>子育て支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入園している子どもの保護者</li> <li>・地域の子育て家庭</li> <li>・地域との連携 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の会話ややり取りの中で、保護者との関係づくりをしてきた。子育てに悩みや不安がある保護者には適宜に面談を持ち、話を聴くようにしてきた。</li> <li>・地域支援員と連携をし、地域と各クラスがぴよぴよ、わんわん等で年齢別交流を深めてきた。在園児は交流する中で、認められることで自信につながっていった。次年度も子どもの現状からクラスがねらいを持ち、交流を考えていく。</li> <li>・1・2歳の育ちの講座で、クラスの子どもの姿を通して年齢の特徴の話を担任がした。具体的な子どもの姿を伝えることでわが子も一緒なのだと安心につながった。</li> <li>・技能職員は離乳食講座や、おやつ講座などの食育を通して相談や指導をして地域と関わった。</li> </ul> <p>園に来て話をし、笑顔になり帰って行かれた地域の親子を見て、ほっとできる場所があり、地域におけるこども園大切さを感じる。</p>

<p style="text-align: center;"><b>教育・保育内容</b></p> <p>・養護・健康・人間関係 ・環境・言葉・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的に園内公開保育を実施し、意見交換し教育保育の点検を行った。</li> <li>・子どもの現状から年間指導計画や月間指導計画を立てて教育保育を進め、中間総括を行い後半の保育に活かすようにしていった。</li> <li>・子ども達につけたい力は何か意識しながら、活動、遊びを各クラスで工夫していった。子どもたちが主体的に生き生きと友達と遊んで楽しいと思える活動や遊びを展開していくために保育会議を持ち、意見交換をした。</li> <li>・行事の取り組みや、つぶやきなどをドキュメント等で掲示していき、保護者にアピールをしたり、シールを使って投票制にした保護者・職員参加型の掲示にしたりするなど工夫を行った。</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>特別支援教育</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの現状から個別指導計画を作成し、保護者と課題や支援のあり方について連携しながら支援教育を行ってきた。</li> <li>・今年度のテーマである「違いを認め合い、生き生きと主体的に活動する力を育む」で講師より具体的なアドバイスを受けることで支援児童の理解に繋げていった。</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>職員の資質の向上</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アドバイザー研修で学んだことをそれぞれのクラスの現状に合わせて教育保育の取り組みに活かしていくようにした。</li> <li>・人権研修では、同和保育や豊中市の人権保育について知らない職員もいるので、改めて学ぶ機会を持った。また、コロナ禍で心身が疲労しがちなので、人間関係やコミュニケーションをよくするために誉め言葉研修を受けたことで意識改革に繋がった。</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>幼保こ小中の連携</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼保こ小連絡会を通して、情報交換を行った。また、支援を要する子どもの様子を就学先の小学校と情報共有し、必要な手だてについて連携を図った。</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>関係者評価の取り組み</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年3回の評議員会を持ち、公開保育や生活発表会に参加して観ていただいた。こども園で大事にしている教育保育を感じていただき、この時期の教育保育の大切さを話し合った。併せて子どものつぶやきを見ていただく機会もあり、子どもの感性に感心されていた。</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>その他</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玄関掲示板に行事の取り組みの様子だけでなく、季節行事の由来や、子どものつぶやきなどを掲示し、一緒に考え、親子で話をしてコミュニケーションできる工夫を行った。</li> </ul>

○今後取り組むべき課題（重点的に取り組むべき課題）

課 題	具体的な取り組み方法
<p style="text-align: center;"><b>教育保育の充実</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍が続く中、保護者の行事参加人数を絞らざるを得ず、他学年の取り組みや様子を実際にみて感じていただく機会がなく、クラス懇談会を開催できた学年やできなかった学年があるので、来年度は園の取り組みのアピールをもっと工夫や手立てを考え、実行していきたい。</li> </ul>

令和5年（2023年）3月31日

豊中市立服部こども園

園長名 住川 直美